

2022年版 歯科技工士 国家試験 問題集

平成28～令和2年度
国家試験収載

全国歯科技工士教育協議会 編

医歯薬出版株式会社

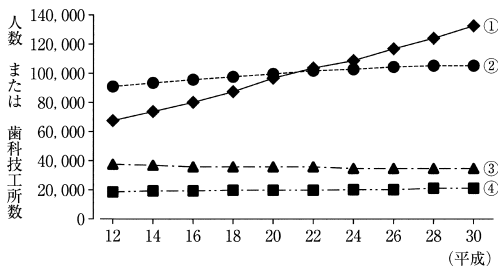
令和 2 年度 国家試験 (学説)

(令和 3 年 2 月 28 日実施、解答時間 2 時間)

問 1 歯科技工指示書の記載事項として法令で規定されているのはどれか。

- a 作成の方法
- b 装着予定日
- c 患者の生年月日
- d 歯科技工士の氏名

問 2 歯科医師数、就業歯科技工士数、就業歯科衛生士数および歯科技工所数の年次推移を図に示す。



就業歯科技工士数を示すのはどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

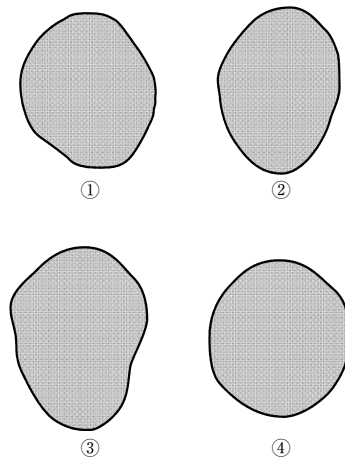
問 3 「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」で医療機器に該当するのはどれか。

- a 歯ブラシ
- b 義歯洗浄剤
- c 歯科用石膏
- d フッ化水素酸

問 4 FDI が定めた方式で示す「44」の先行歯はどれか。

- a 上顎右側第一乳臼歯
- b 上顎右側第二乳臼歯
- c 下顎右側第一乳臼歯
- d 下顎右側第二乳臼歯

問 5 小臼歯の咬合面からみた外形を図に示す。



上顎第一小臼歯はどれか。

- a ①
- b ②
- c ③
- d ④

〔問題 1〕

↑ 歯冠長 ↓ ↑ 頬舌径 ↓ ↑ 歯冠長 ↓	歯頸側 ↑		頬側面観
	頬側		咬合面観
	舌側 ↓ 歯頸側		舌側面観

歯科技工と歯科医療

1. 歯科技工

問1 歯科技工士について正しいのはどれか。

- a 矯正装置を修理できる。
- b 歯科診療の補助ができる。
- c 歯科技工指示書を記載できる。
- d 歯科衛生士よりも就業者数が多い。

問2 歯科技工士の守秘義務で正しいのはどれか。

- a 退職した後も継続する。
- b 患者の死亡により消滅する。
- c 仮に守らなくても刑罰はない。
- d 事例検討であれば課せられない。

問3 就業歯科技工士数に最も近いのはどれか。

- a 1万5千人
- b 2万5千人
- c 3万5千人
- d 4万5千人

問4 歯科技工所数に最も近いのはどれか。

- a 5千
- b 1万
- c 1万5千
- d 2万

問5 就業歯科技工士のうち歯科技工所で働く者の割合に最も近いのはどれか。

- a 30%
- b 50%
- c 70%
- d 90%

問6 就業歯科技工士の年代別の割合で最も人数が多いのはどれか。

- a 20～29歳
- b 30～39歳
- c 40～49歳
- d 50歳以上

2. 衛生行政

問1 憲法第25条第1項で「」にあてはまる語句はどれか。

すべて国民は、「」で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。

- a 健全
- b 健康
- c 安全
- d 安心

問2 憲法第25条第2項で「」にあてはまる語句はどれか。

国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び「」の向上及び増進に努めなければならない。

- a 公衆衛生
- b 保健医療
- c 健康衛生
- d 医療保障

問3 保健所の設置について規定している法律はどれか。

- a 医師法
- b 医療法
- c 健康増進法
- d 地域保健法

有床義歯技工学

1. 有床義歯技工に関する基礎知識

■ 1 有床義歯の特徴と分類

問 1 ブリッジと比較した部分床義歯の特徴はどれか。

- a 固定性である。
- b 異物感が少ない。
- c 修理が容易である。
- d 審美性が良好である。

問 2 咬合の改善を目的とするのはどれか。

- a 最終義歯
- b 移行義歯
- c 即時義歯
- d 治療用義歯

問 3 即時義歯の目的はどれか。

- a 咬合挙上
- b 咬合関係の改善
- c 病的な粘膜の調整
- d 拔牙直後の審美的な回復

問 4 拔牙後に人工歯の追加が容易に行えるように設計する義歯はどれか。

- a 最終義歯
- b 移行義歯
- c 即時義歯
- d 治療用義歯

問 5 即時義歯について正しいのはどれか。

- a 拔牙創を保護する。
- b 事前に試適が行える。
- c 病的な粘膜の調整を行う。
- d 拔牙前の歯の形態を義歯に移行できる。

問 6 拔牙創が完全に治癒した後に製作するのはどれか。

- a 最終義歯
- b 移行義歯
- c 即時義歯
- d 治療用義歯

問 7 拔牙前に印象採得を行うのはどれか。

- a 移行義歯
- b 即時義歯
- c 最終義歯
- d 治療用義歯

■ 2 基準平面と解剖学的ランドマーク

問 1 Camper（カンペル）平面の前方基準点はどれか。

- a 切歯点
- b 鼻翼下縁
- c 眼窩下縁
- d 切歯乳頭

問 2 Frankfort（フランクフルト）平面の前方基準点はどれか。

- a 切歯点
- b 眼窩下点
- c 切歯乳頭
- d 鼻翼下縁

問 3 下顎無歯顎の解剖学的指標はどれか。

- a 口蓋小窩
- b アーライン
- c 顎舌骨筋線
- d ハミュラーノッチ

令和2年度 国家試験（学説）

歯科技工と歯科医療

問1

解答：a

歯科技工指示書は、歯科技工士が歯科技工物を製作する際に、歯科医師が設計などを記して発行する指示書である。歯科技工所の管理者（病院・診療所で歯科技工が行われる場合は病院・診療所の管理者）は、当該歯科技工の終了後、歯科技工指示書を2年間保存しなくてはならないと定められている。

歯科技工指示書の記載事項

- ①患者の氏名
- ②設計
- ③作成の方法
- ④使用材料
- ⑤発行の年月日
- ⑥発行した歯科医師の氏名および当該歯科医師の勤務する病院または診療所の所在地
- ⑦当該指示書による歯科技工が行われる場所が歯科技工所であるときは、その名称および所在地

- a ○
- b × 日付で記載が必要なのは発行年月日であり、納品日や装着日は不要である。
- c × 患者の情報で記載が必要なのは氏名である。
- d × 歯科技工所の名称と所在地は記載が必要であるが、歯科技工士の個人名は不要である。

文献：最新歯科技工士教本 歯科技工管理学 161-162

▶ **keyword：歯科技工指示書**

問2

解答：c

歯科技工士として、現在の就業歯科技工士数およびその就業場所別・年齢別の内訳、歯科技工所数については、大まかな数とその経年推移を把握しておく必要がある（教本「歯科技工管理学」p. 29の表2-1、図2-1を参照）。

また近年ではチーム医療や多職種連携が求められていることから、歯科技工士の現状だけでなく、その他の歯科医療職種についても、就業人数などの概要を理解しておくことが必要である。

- a × ①は歯科衛生士の就業者数の年次推移である。
- b × ②は歯科医師数の年次推移である。
- c ○ ③は歯科技工士の就業者数の年次推移である。ほぼ3.4万人～3.5万人で推移している。
- d × ④は歯科技工所数の推移である。

文献：最新歯科技工士教本 歯科技工管理学 29
平成30年衛生行政報告例（就業医療関係者）の概況
<https://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/eisei/18/dl/kekka2.pdf>

▶ **keyword：就業歯科技工士数**

問3

解答：c

「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」（略称：医薬品医療機器等法）は、医薬品や医薬部外品、医療機器などを規制する法律である。歯科用金属や歯冠材料、義歯床用材料、石膏などの歯科材料は、「医療機器」に該当し、この法律の対象となる。

歯科技工の材料や品質管理に関する法令・通知については、その内容をよく把握しておく必要がある。

- a × 歯ブラシは医薬品医療機器等法の対象外となっている。
- b × 義歯洗浄剤は医薬品医療機器等法の対象外となっている。
- c ○ 医薬品医療機器等法における「医療機器」に該当する。
- d × フッ化水素酸は医薬用外毒物であり、「毒物及び劇物取締法」により規制される。

文献：最新歯科技工士教本 歯科技工管理学 81
最新歯科技工士教本 歯科理工学 26-27

▶ **keyword：医薬品医療機器等法（医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律）、医療機器**